

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 パワートルク・ジェットブラック	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.489	△RG 0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：パワートルク・ジェットブラック

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

番

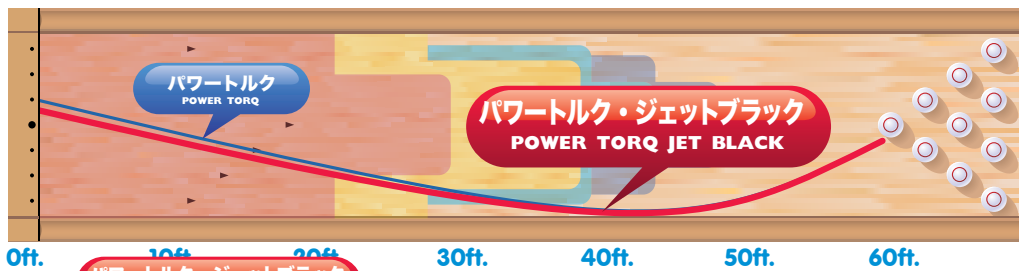
比較対照ボール：パワートルク

フレアーの幅 インチ

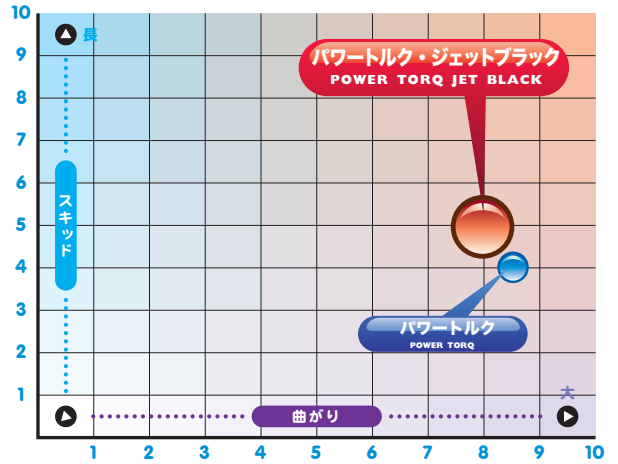
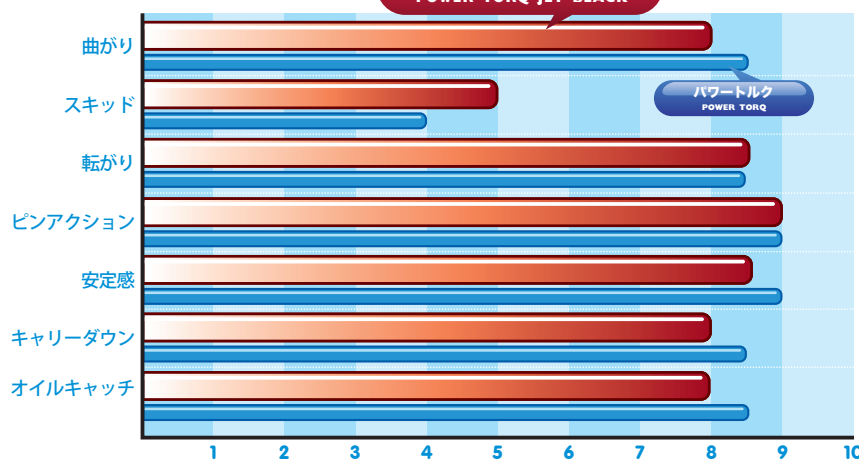
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

初代POWER TORQは転がるイメージを持ちながら最後まで曲がり続ける、キャッチと転がり双方を兼ね備えたボールでした。しかもポリッシュを施すことでキャッチを殺さずに先の動きのシャープさが増すという、一つのボールで質の高い性能が2度味わえる汎用性の高さも見いだせたボールと言えるでしょう。

POWER TORQに搭載されているERT Solidカバーストックはポリッシュしてもキャッチが弱まらないのが特徴で、他メーカーと比較してもポリッシュ可能の中ではキャッチは上位に位置するボールです。今回のPOWER TORQ JET BLACKは、ERT Solidカバーストックはそのままに添加剤の配合比を調整したことで、前作よりも中盤から後半の動きをさらに明瞭にし、前作と変わらない扱いやすさを感じさせながら入射角を強化したモデルです。

前作は箱出しが2000 Siaair Micro Padでしたが今作はポリッシュ仕上げとなります。カバーストック ERT Solidはポリッシュしても十分オイルにも強く、日本のコンディションを考えた場合、ポリッシュ仕上げで動きを強調させたほうが活かせる、というコンセプトをもとにJET BLACKは配合調整されています。POWER TORQとJET BLACK双方を同じポリッシュ状態で比較すると、JET BLACKはオイルゾーンの走り方に変化は見られませんが、ドライエリアの反応が明らかに鋭くハッキリしており、より角度が出てシャープさが加わっているのが分かります。

特記事項

JET BLACKは箱出しポリッシュで、POWER TORQのポリッシュ仕上げよりも更にシャープな動きが特徴のボールです。オイルに強く、反応の高いボールを探している方にJET BLACKはオススメです。